教育研修委員会「2026 年度宿泊研修会」報告書(1/2)

日　　時	2026 年 11 月 13 日(金)　16 時 00 分～17 時 00 分
開催場所	ホテル函南　会議室
出 席 者	齋藤(和)、飯高、山崎、持地、徳、下鳥、木田、宇津木、森井、齋川、髭、斎藤(駿)、大西、木村、萩原、村岡、渡辺、高木、中山　オブザーバー 守屋、村田 (敬称略)　事務局

■協会報告

◎新年賀詞交歓会を 1 月 15 日に開催。開催案内は翌週頃に発信予定。なお、今回のアトラクションは「獅子舞」。

◎熊本地震に対して災害義援金を贈ったが、千葉県の災害については、12 月の理事会で検討する予定。

◎SE 講座の講師を現在募集中。該当する方がいましたら 1 月 29 日までに推薦してほしい。

◎一般社団法人 iCD 協会様主催の「iCD カンファレンス 2026 冬」を 11 月 19 日にオンラインにて開催。今回のカンファレンスは、生成 AI や FDE 人材の育成がテーマ。

■SE ハンドブック第 11 版について

◎早ければ 12 月、遅くとも 1 月から販売開始を目指す。

◎現在、残りの原稿・校正作業を進め、最終確認を行っている。AI による誤字脱字チェックが非常に有効だった。

◎販促用のチラシは今後準備する。

■ディスカッション「第二新卒／中途(未経験者)の教育について」

◎中途採用は入社時期が分散するため、新卒向け研修に合流できないケースが多い。

◎1～2 名の入社であれば、外部研修や IT スクールを活用する方法が現実的。

◎複数名をまとめて受講できれば、研修事業者による柔軟な対応も可能。

◎助成金の申請を予定している場合は、少なくとも 1～2 か月前から計画する必要がある。

◎協会として、第二新卒・未経験者向けに、10 月開始の Java 又は C#の研修が提供できないか検討したい。

◎任意のタイミングで受けられる「スターター講座」などがあると良いとの意見もあった。

◎未経験者を積極的に採用する企業もあれば、未経験者は採らない企業もある

◎経験者は前職の仕事の進め方に染まっている場合があるため、若年層の未経験者を採用して、自社で育成したいとの意見があった。

◎前職の仕事の進め方に染まってないことはメリットである一方、未経験者を採用することには不安があるとの意見もあった。

◎採用年齢はおおむね 20 代後半までを意識する企業が多く、30 歳前後を一つの目安とする意見があった。

教育研修委員会「2026 年度宿泊研修会」報告書(2/2)

日　　時	2026 年 11 月 13 日(金)　16 時 00 分～17 時 00 分
開催方法	ホテル函南 会議室

◎30 歳前後で一人前になることを想定し、3 年程度の育成期間から逆算して採用しているとのこと。
◎受託開発では、主体的な対応力が求められるため、SES 経験者の受け入れに慎重な企業もあった。
◎外国人の採用では、日本の学校に留学している外国籍人材は、日本人採用に近い形で選考可能。
◎海外から直接採用する場合は、教育や生活面の支援負担が大きい一方、意欲・適応力の高い人材も多い。
◎宗教上の習慣、礼拝場所、ラマダン等への配慮が必要。
◎国ごとにコミュニティが形成されており、規模の大きなコミュニティがある場合、日本語を習得する機会が少なくなることもあるとの意見があった。
◎防衛・警察関連など、外国籍人材を配置できない案件があるため、業務内容を確認して採用する必要がある。
◎来年度研修について、従来型、AI 駆動型、両者を組み合わせるハイブリッド型の考え方について参加者間で意見交換を行ったが、従来型と AI 駆動型を組み合わせたハイブリッド型を支持する意見が多かった。
◎AI 駆動開発では、コーディングそのものより、要件定義、設計、ソースコードの読解、レビュー、テスト、説明責任を重視する方向。
◎生成 AI 導入初期は、レビュー工数や AI の品質、プロンプト設計の未熟さにより、期待した効率化が得られない場合がある。
◎AI 活用を進める一方、生成物を理解せず利用することを防ぎ、経験豊富な社員による判断・レビューを維持する必要がある。
◎今後の研修において、AI 駆動型の研修をどのように提供していくかが課題となった。

■次回の開催

12 月 9 日（水）14 時より、第 5 回教育研修委員会を開催します。

以　上